

平成 29 年度 三宅村立三宅中学校 社会科 授業改善推進プラン

三宅中学校における「確かな学力」

- ・授業に取り組む姿勢だけではなく、家庭でも学習しようとする学び続ける力… (学習意欲)
- ・各教科の基礎・基本を着実に身に付ける力 … (基礎学力)
- ・学んだことから自ら考え、判断し、より深く学ぶ力 … (思考力・判断力)
- ・自分の考えを表現し、人に伝える力 … (表現力)

	各学年の課題分析 (生徒の実態・指導方法)	具体的な授業改善策	補充的・発展的 指導計画
1 年			
2 年	<p>学力調査の結果から、基礎的な学力・活用的な学力も十分身につけていることがわかった。しかし、平均値は越えているものの資料を読み取ってそれを活用する技能が、他の学力と比べると低い。地図や表、グラフなどといった資料を活用する時間を十分に確保したい。</p> <p>また、期末テストに向けての学習状況や授業アンケートなどから、社会科の授業に対する興味は高いことがわかった。ICT 機器を効果的に使用し学習意欲を引き出したい。</p>	<p>資料を読み取り、活用する場面を増やす。自分の意見を発表する場合でも、意見の根拠となる資料を確認させるようにする。</p> <p>家庭学習と宿題につながりをもたせ、必ずやってくる習慣をつけさせる。</p> <p>授業内で、復習・まとめを行う場面を増やす。授業内容の精選と丁寧な復習を繰り返し行っていく。</p>	<p>授業内容のまとめと復習、家庭学習をバラバラではなくリンクさせて指導するようして、学習内容の定着を図る。その中で発展的な内容も入れていく。</p> <p>自分の意見を発表させる場面を多く設定する。</p>
3 年	<p>学力調査の結果から、校内平均正答率があともう少しで全国平均正答率にとどきそうである。社会的な思考・判断・表現を問う問題の正答率が他の問題の正答率に比べ低くなっている。十分な時間を確保し、繰り返し練習問題を解き習熟度を上げていきたい。また、社会的事象への関心・意欲・態度の数値がやや低くなっている。ICT 機器の効果的な利用や生徒の身近な話題を取り上げるなどして意欲的に学習を進めていきたい。</p>	<p>授業内で、ワーク等を効率的に使い復習・まとめを行う場面を増やす。授業内容の精選と丁寧な復習を繰り返し行っていく。</p> <p>思考場面を多く設定し、ICT などを活用し表現する機会を多く取り入れる。</p> <p>また、ICT 機器等の積極的な活用によって学習に対する意欲を引き出していく。</p>	<p>授業内容のまとめと復習、家庭学習をバラバラではなくリンクさせて指導するようして、学習内容の定着を図る。さまざまな仕掛けを準備し、社会に対する興味・関心を引き出していく。</p>